

2024年1月21日(日)にオンライン地域防犯セミナーを開催いたしました。

タイトル：「若林・三軒茶屋地区の安全をどう守るか」
～犯罪防止のための知識と技術～

講師：立正大学 文学部社会学科 教授

小宮 信夫氏

〔講演内容のまとめ〕

主に子どもを狙った連れ去りやいたずらなどの犯罪の最悪な事例をいくつか挙げながら、ストリートビューも駆使して講演を行いました。

1) 犯罪者が好む犯行現場の傾向、ホットスポットとは

（入りやすい）（見えにくい）（逃げやすい）

例としては、空地、空家、歩道の植込みと植込みの間の空きスペース、家のフェンスの影、マンションやビルの外階段の踊場などが挙げられます。加えて「死角なし」「視線なし」という所も安全安心なようで狙われやすい。犯罪者は事前に下見をします。そのため不審者に気を付けようとよく言われます。最近はストリートビューを見て計画を立てる犯罪者も増えています。

2) 犯罪者に犯罪を起こさせない環境づくりとは

（入りにくい）（見えやすい）

犯罪動機を論ずるより 以下のように犯罪機会論の現場的实践の方が犯罪を抑止する効果が期待できます。

○海外の公園は子どもの遊び場と大人スペースのゾーニングを分けている所が多い。

○子供は知らない人にも挨拶をしましょう。対話のできる子どもは大人に危険を知らせる能力が備わっていると思われ犯行を留まる可能性があります。

○地域安全マップの作成と犯罪防止ネットワークの構築が大切です。

○小学校下校時のパトロールは効果的です。

○防犯パトロールはランダムでなく、ホットスポットパトロールがおすすめ。

○犯罪者は花を嫌う。庭木や花の手入れ、散水は有効な「ながらパトロール」

○トイレ近くの休憩スペースは長時間居ても怪しまれない。犯罪者がターゲットを物色しやすい。トイレ出入口、休憩スペースの配置見直しがされるとよい。



英国ロンドンの公園、子どもあそび場は入りにくいようフェンスで囲まれている

能登半島地震を私たちの教訓に！

輪島災害ボランティアレポート

若林町会広報部長 月村雅一(防災士)

今年元旦に地震発災して4ヶ月半が経った能登半島、輪島市門前町に拠点を置くRQ能登という団体で災害ボランティア活動をしてきました。

参加動機は大変苦勞されている能登の皆様のため少しでもお手伝いしたい。他人事ではありません。昨日は人の上、今日はわが身の上です。

もう一つは若林地域防災の課題を見直すため、直接見てくることが大切と思ったからです。

能登半島は海の幸、山の幸も豊かな里海、里山です。美しい日本海の光景は絶品です。しかし、海岸、砂浜、港の海底の隆起が極めて深刻です。漁船が海に出せないの魚やエビなども獲れない。わかめ漁もできない。石川県では69漁港のうち60漁港で防波堤や岸壁が損傷し22漁港で地盤隆起、海底露出、水深不足などが起きたとのこと。

コーディネーター長は言っていました。高齢者が多い。必ずしも元気ではない。希望を持ってほしい。目先の人々に心を寄せ依頼されたニーズにできるだけ対応していきたい。伺った家々は家具転倒対策をしていなかった模様、家中は家具などが地震でかき回されぐちゃぐちゃになりました。1階、2階から家具・家電その他を運び出し丁寧に片付けました。軽トラックで災害廃棄物仮置場に運びました。このあと建替えるか、どうするか迷う人も多いと会話する中で感じました。



輪島市門前町の倒壊家屋

公的支援物資が不十分な中、一人の漁師さんとも連携して発災直後から物資を調達し、避難所に届けたり、また、避難所に行かず不安を抱える一人暮らしの人など、数十人にお弁当や物資を繰り返し届けながら、見守りを続けて関連死を絶対出さないとの思いで支援してられました。まだまだ様々な形の支援が長く必要です。ぜひまた、機会をつくり、支援に行きたいと思います。

能登半島地震を経験して

若林まちづくりセンター まちづくり・防災担当係長 弓部顕子

令和6年1月1日16時10分、石川県能登地方を震源としたM7.6の地震が発生しました。

その日私は実家のある富山県氷見市に帰省していました。

氷見市は能登半島の付け根にある市で、震度5強の揺れを観測しました。幸い自身や家族にけがはなく、家屋に大きな被害もありませんでしたが、市内では負傷者9人、全壊家屋200軒以上の被害に見舞われました。市内全域で断水となり、完全復旧まで約3週間かかっています。

「富山県は地震や津波の少ない県」と言われ、実際、2022年までは過去10年間で最も地震の少ない県でしたが、今回で状況は一変しました。東京も首都直下地震が今後30年間で70%の確率で発生すると言われていています。東京と地方では異なる面もありますが、「自分の身は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識や行動の重要性は変わりません。

この能登半島地震を教訓とし、日ごろの備えを一層強化していただければと思います。まちづくりセンターでも支援いたしますので、一緒に災害に強いまちをつくっていきましょう。

若林地区身近なまちづくり推進協議会は若林まちづくりセンター管内の住民委員で構成された協議会です。安全安心部会は主に防災・防犯・交通安全など地域の安全安心まちづくりを推進しています。この通信は三軒茶屋・若林地域に掲示・回覧・配布しています。世田谷区のホームページからも見ることができます。

メンバー 小泉一哉 鈴木久 高木史雄 津上仁志 月村雅一 廣瀬稔教 堀江義之 (アイウエオ順)